支援センターやまなしシンボルマーク

あなたの思いやりを

山梨県公安委員会指定 犯罪被害者等早期援助団体

公益社団法人 被害者支援センターやまなし だより

第22号

平成26年8月

総会

平成26年度 定時社員総会・理事会を開催

6月20日(金)　甲府市・ホテル談露館

当センターは、6月20日(金)午後2時から甲府市・ホテル談露館で、平成26年度定時社員総会を開催しました。総会では、竹井清八理事長のあいさつに始まり、来賓として真家悟山梨県警察本部長様、横森梨枝子山梨県企画県民部理事様から祝辞をいただき、感謝状贈呈ののち議長を選出し議事に入りました。

事務局より平成25年度の「事業報告」と「決算報告」、「監事監査報告」、さらに「新役員の選任」、の議案がそれぞれ提出され、全て承認されました。

その後、同会場で第2回理事会が開かれ、当センターの理事長、副理事長など代表理事の選定などについて承認を得ました。

この社員総会に先立ち、5月16日(金)には甲府市中央公民館(甲府市丸の内三丁目)で第1回理事会を開催し、平成25年度の補正予算などについて協議され、承認されました。

6月20日、平成26年度定時社員総会の議事に先立ち、山梨県警察本部長・真家悟様と山梨県企画県民部理事・横森梨枝子様とにご祝辞をいただきましたので、その一部を紹介します。

支援の中核として関係機関と密な連携を

山梨県警察本部長　真 家　悟

「被害者支援センターやまなし」は、平成18年の発足以来、公益社団法人化、公安委員会からの犯罪被害者等早期援助団体の指定を受けられるなど、組織の充実を図られる中で、犯罪被害者やそのご家族に対する支援に献身的なご尽力をいただいております。

さて、犯罪のない安全で安心して暮らせる社会は、全ての県民の願いであり、豊かで快適な生活を営む上での基盤です。しかし、理不尽な犯罪等は後を絶たず、誰もが犯罪被害者となりうる現在、不幸にして被害に遭われた方への支援は欠かせないものであります。

警察は、犯罪被害者に犯罪直後から深く関わる機関として、①犯罪被害者への情報提供②相談、カウンセリング体制の整備③犯罪被害者給付制度その他各種公費負担制度の運用④捜査過程における犯罪被害者の負担の軽減 など、犯罪被害者の視点に立った様々な支援を行っております。

しかし、犯罪被害の基本理念である必要な支援を途切れなく行うには、個々の機関がそれぞれの支援を行うのでなく、警察、行政、民間支援団体等が相互に連携し、犯罪被害者を支えていくことが重要であります。

「被害者支援センターやまなし」には、犯罪被害者支援の中核として、関係機関、団体との強力な連携の下、きめ細やかな支援活動にご尽力いただき、「社会全体で被害者を支え、被害者も加害者も出さない社会」、「安全で安心して暮らすことのできる社会」の実現へ向けご活躍されますよう期待しております。

地域全体で被害者を支え合う社会

山梨県企画県民部理事　横 森　梨枝子

横内知事に代わり、ごあいさつ申し上げます。

貴センターにおかれましては、日々の電話相談や面接相談、病院、裁判所への付添いなど直接支援等をはじめとし、様々な事情を抱える犯罪被害者の方々に対し、きめ細やかな対応をされており、役職員の皆様、ボランティア支援員の方々には、心より感謝申し上げます。

また、「犯罪被害者等早期援助団体」として、迅速に支援活動に取り組まれていることに改めて敬意を表します。県では、「山梨県犯罪被害者等総合支援窓口」で、犯罪被害者等が抱えている様々な問題に対し、相談対応や情報提供を行っておりますが、今後も、犯罪被害者等の視点に立ち、元の平穏な生活を一刻も早く取り戻すことのできるよう、必要な支援を行っていきたいと思います。

犯罪被害者等が抱える心の痛みや様々な問題は、複雑かつ深刻であり、平穏な生活を取り戻すためには、適切な支援を途切れなく行うとともに、県民全体に、被害者等に対する思いやりを広め地域全体で被害者を支え合う社会とすることが重要です。

このため、今後も、貴センターや県警をはじめとする関係機関の連携が一層強化されるよう、ご協力をお願いいたします。

平成26年度定時社員総会における竹井理事長のあいさつを紹介します。

より幅広く質の高い支援活動を

被害者支援センターやまなし理事長　竹 井　清 八

公私とも大変お忙しい中、山梨県警察本部の真家本部長様、山梨県企画県民部理事の横森様のご臨席をはじめ、会員の皆様方には多数のご出席を賜りありがとうございます。

当センターは、皆様方のご尽力により平成19年4月に「社団法人」として設立され、今年で7年目になりますが、一昨年には山梨県公安委員会から「犯罪被害者等早期援助団体」の指定を受けるなど、全国レベルの活動ができる団体として認められました。

この間、皆様方には、各種支援活動に絶大なご協力をいただき、広報・啓発活動、事件・事故の被害者等への相談や精神的ケア、あるいは裁判所、検察庁等への付添いなどの支援活動がスムーズに行うことができました。

特に昨年度は、早期援助団体として第1号の殺人事件被害者の裁判員裁判への付き添い直接支援を行ったほか、弁護士や臨床心理士などによる精神的ケアを積極的に行い、被害者やその家族の精神的負担の軽減等に努めて参りました。

今後も、より幅の広い、質の高い支援活動に取り組んでいきたいと考えていますが、この活動を充実させるためにも組織基盤や人的基盤の充実を図り、県民に期待されるセンターを目指したいと考えています。

会員の皆様方には、県民の期待や信頼に応えることのできる「被害者支援センターやまなし」を確立するために、今後ともより一層のご支援、ご協力のお願いを申し上げます。

10社・4団体に感謝状を贈呈

被害者支援活動の重要性に深い理解を寄せられ、当センターに公益事業推進のための浄財を寄付された8社・3団体とチャリティー自販機設置にご協力をいただいた2社・1団体に感謝状を贈りました。

このうち、6月20日に開かれた定時社員総会では、VanaH株式会社（コンプライアンス部本部長・小林蔚様）、山梨県遊技業協同組合（専務理事・佐藤直行様）、公益財団法人山梨文化学習協会（遠藤清一様）、山梨県警友会連合会（坂本美穂様）の皆様にご出席いただき、竹井理事長が感謝状と記念品を手渡しました。

そのほか以下の皆様に感謝状をお贈りしました。（一社）山梨県建設業協会、㈱アルプス、昭和建設㈱、建協クリーンロード、天野工業㈱、㈱光新星、㈲ダイヤ商事、㈱大黒屋、㈱ミリオンインターナショナル、〔チャリティー自販機設置協力〕㈲富士吉商事、メグロ会館（敬称略・順不同）

左から小林蔚様、佐藤直行様、遠藤清一様、坂本美穂様

平成25年度 事業報告

平成25年度に実施された事業は以下の通りです。

事業名	実施事項	実施時期 / 件数等	実施内容
相談活動の推進	電話相談等	年間 計169件 （内電子メール1件）	電話相談員（ボランティア）の技能向上を図るとともに、適切に実施した。
	面接相談	年間 20件	面接技能の向上に努めるとともに、適切に実施した。（相談員20件）
	専門相談	年間 14件	臨床心理士および弁護士による無料相談を実施した。（臨床心理士7、弁護士7）
直接支援活動の推進	付添い支援	年間 11件	被害者等の要請に基づき、直接支援員等による計8回の付添い支援を行い、精神的負担の軽減を図った。（裁判所5件、弁護士3件、検察庁2件、事故現場1件）
	日常生活への支援に関する教養	通年	直接支援員（専門相談員、ボランティア等）に対し、被害直後の被害者には、必要性に応じて買い物、身の回りの世話等の直接支援活動を行う場合があり、その対応の教育を実施している。
間接的支援活動の推進	給付金申請手続きの補助支援	年間	警察と連携し、被害者遺族に対しての情報提供および申請補助についてはなかった。
	自助グループへの支援	年間 10回 （毎月開催）	平成24年1月23日に被害者同士で支え合える自助グループ「ゆるら」を結成、毎月1回の定例開催（8月・1月を除く）と活動に対する積極的な支援を行った。
ボランティアの育成・養成	研修会 （育成講座等）	年間 計23回 （延べ194名）	支援員の知識・能力、電話対応・面接技術の向上に加え、メンタルケアを目的とした臨床心理士等による系統的な研修会を開催した。
	新規募集及び養成講座 （第7期生）	平成25年12月～平成26年3月の延べ8日間	新規支援員の養成講座を開催した（第7期生：修了者3名）。現在、活動中の支援員を含め、広く開放して参加を呼びかけたところ、7期生以外にも10数名が参加した。
相談体制の充実	専門相談員の委嘱と緊密な連携	通年 委嘱数13人	相談業務の充実を図るため、専門相談員（精神科医3人、臨床心理士8人、産婦人科医1人、弁護士1人）を委嘱し、緊密な連携の下に必要な体制の整備に努めた。
	代理被害の防止	通年	支援員等の代理被害を防止するために、臨床心理士、医師等による教養を実施した。
広報・宣伝活動	広報・宣伝活動	機関誌発行 年3回（計6,000部）	機関誌「あなたの思いやりを」を発行し、会員等へ業務内容、活動状況を報告した。（第19号=8月、第20号=12月、第21号=3月）
		広報資料等の作成 通年	チラシ・リーフレット等（6種類3万1千枚）、クリアファイル（6千枚）、ポケットティッシュ（1万5千個）の作成・配布、新聞広告（43回）、電光掲示広告、路線バスへの掲出広告等により、事業内容の広報に努めた。
		街頭活動等 通年	北杜市お巡りさんふれあいコンサート、ビッグ長松寺店、JR甲府駅、小瀬スポーツ公園、コラニー県民文化ホール、南アルプス市櫛形総合会館等において延べ85名による広報活動を実施した。
	啓発活動	ホームページ、講師派遣、ダイレクトメール等 通年	ホームページ、ダイレクトメール、講師の派遣（5回）等により、犯罪被害者等の現状および被害者支援活動の重要性・必要性について理解を深め、その周知を図った。
		講演会、命の大切さを学ぶ授業（講演会） 通年	従来の支援週間講演会（100名）に加え、高校生を対象にした「命の大切さを学ぶ授業」も取り入れ、若者や県民全体の理解と意識の高揚を図った（計4回、2,454人）。
調査研究活動	研究活動	通年	全国規模、関東ブロック規模の犯罪被害者支援に関する研修会、他の関係機関が開催する各種講座・講演会等へ積極的に参加し、被害者支援活動の現状・問題点、支援団体のあり方等について研究した。（延べ13回22日間、96名参加）

平成25年度 決算報告

（前年度比較）　（単位:円）

		平成 25 年度	平成 24 年度	増減
収入	会費収入	4,259,000	3,811,000	448,000
	寄付金収入	1,623,148	912,121	711,027
	補助金等収入	11,238,430	9,842,400	1,396,030
	雑収入	52,007	126,293	−74,286
経常収益合計		17,172,585	14,691,814	2,480,771
支出	事業費	10,314,480	11,594,916	−1,280,436
	管理費	5,602,062	4,125,875	1,476,187
経常費用合計		15,916,542	15,720,791	195,751
当期経常増減額		1,256,043	−1,028,977	2,285,020
正味財産期末残高		2,232,813	976,770	1,256,043

センター役員

（順不同・敬称略）

顧問
- 横内正明　山梨県知事
- 棚本邦由　山梨県議会議長
- 真家悟　山梨県警察本部 本部長
- 江口英雄　山梨県市長会会長
- 渡邊凱保　山梨県町村会会長
- 丸茂紀彦　山梨県経営者協会会長
- 廣瀬久信　山梨県農業協同組合中央会会長
- 今井立史　(一社)山梨県医師会会長

参与
- 牛奥久代　山梨県女性団体協議会会長
- 小澤健太郎　(公社)日本青年会議所関東地区 山梨ブロック協議会会長
- 藤巻秀子　(公社)山梨県看護協会会長
- 小野忠則　(公社)被害者支援センターやまなし 前専務理事

理事長
- 竹井清八　山梨県商工会連合会前会長

副理事長
- 山口勝弘　山梨県臨床心理士会会長
- 山角駿　山梨県精神科病院協会会長

専務理事
- 三枝昇　(公社)被害者支援センターやまなし

理事
- 浅野正一　(一社)山梨県建設業協会会長
- 石川恵　山梨県弁護士会 犯罪被害者支援センター委員
- 大澤英二　NPO法人山梨いのちの電話理事長
- 大森武正　山梨県遊技業協同組合前理事長
- 金丸康信　㈱テレビ山梨代表取締役社長
- 小林明　山梨県商工会議所連合会 甲府商工会議所事務局長
- 五味政樹　(一財)山梨県交通安全協会常務理事
- 新海一男　山梨県中小企業団体中央会 専務理事
- 成澤廣之　(一社)山梨県警備業協会専務理事
- 西川勝仁　㈱山梨文化会館代表取締役
- 武者吉英　山梨県産婦人科医会前会長

監事
- 上野敬一　山梨県司法書士会理事
- 中村勝良　東京地方税理士会山梨県会 総務部副部長

ボランティア支援員研修会（育成講座）を開きました

当センターの活動を支えているボランティア支援員の方々の、さらなる知識・技術の向上を図るため「ボランティア支援員育成講座」を開催しました。

今年度は、月に１回ペースの開催を予定しており、これまでに、山梨県臨床心理士会会長・山口勝弘氏（当センター副理事長）、自動車事故対策機構チーフ・鈴村一雄氏、山梨大学・臨床心理士・伊藤美佳氏（当センター専門相談員）、山梨県県民生活センター主査・古谷優子氏を講師に招き育成講座を開きました。各講座ではそれぞれの講師から「対人援助の実態」「交通被害者の実態」「被害者支援における心理教育」「県民相談・消費生活相談の業務内容」などを学び、参加したボランティア支援員は真剣な表情で聞き入っていました。講師の先生方ありがとうございました。

山口勝弘副理事長による講座（4月21日）

鈴村一雄氏による講座（5月15日）

伊藤美佳氏による講座（6月6日）

古谷優子氏による講座（7月8日）

「犯罪被害者支援講演会」を開催します

当センター主催の「犯罪被害者支援講演会」を11月26日(水) 県防災新館１Fで開催します。

講師には、山形県から渡辺理香さんを招き、犯罪被害者の立場から、その心情等、さまざまな問題について講演していただきます。

入場は無料です。多くの方のご参加をお待ちしております。

「犯罪被害者支援講演会」

開催日　11月26日㈬ 午後（時間未定）

場　所　甲府市丸の内一丁目 山梨県県防災新館1F 県民プラザ（オープンスクエアー）

寄付金付き自動販売機
甲府市 ぴゅあ総合に設置

当センターは、財政基盤が脆弱のため、広く「犯罪被害者支援寄付金付き自動販売機」の設置をお願いしております。缶ジュース等の売り上げの一部をご寄付いただくもので、コカコーラ・セントラルジャパン㈱と当センターの法人会員・㈱フローレンのご協力をいただき、これまでに市川三郷町、富士吉商事市場東給油所（相吉浩司社長）、萩原憲様（甲府市丸の内・メグロ会館前）に導入いただいております。

今回、公益財団法人やまなし文化学習協会山梨県男女共同参画推進センターぴゅあ総合様にご理解・ご協力をいただき、チャリティー自動販売機を導入いただきました。

当センターでは、今後も寄付金付き自販機の設置を広くお願いしてまいります。契約更新や新規設置の際はご検討をお願いいたします。

ホンデリングプロジェクトにご協力をお願いします

全国被害者支援ネットワークとバリューブックスが始めた「ホンデリング」プロジェクトにご協力をお願いいたします。不要になった本をバリューブックスが集荷・査定し、その買取相当額が被害者支援センターに寄付されるというシステムです（下図）。

事業所等で不要な本、実用書などを集めていただき、梱包、電話していただければ、古本が当センターに活動資金となります。詳しくは当センターホームページの「ホンデリング」をご覧ください。

ホンデリングプロジェクトの流れ

個人・事業所等
- 当センター HPからIDが記載された指定の「贈与承諾書」をダウンロード
  寄付する本と「贈与承諾書」をダンボールなどに梱包
- バリューブックス（☎0120-826-295）に連絡、「ホンデリング」を指定

バリューブックス
- ヤマト運輸が集荷
- バリューブックスで仕分け・査定
- 買取相当額を寄付

全国被害者支援ネットワーク
- 活動資金
- 被害者支援センターやまなし

「イオン幸せの黄色いレシートキャンペーン」
イオン甲府昭和店とザ・ビッグ甲府長松寺店に設置

イオンリテール株式会社（本社・千葉県千葉市）、およびマックスバリュー東海株式会社（本社・静岡県駿東郡長泉町）では、地域社会への貢献の一環として、地域で活動するボランティア団体に助成する「イオン幸せの黄色いレシートキャンペーン」を行っています。

毎月11日の「イオンデー」に、買い物客に黄色いレシートを各団体のボックスに投函してもらい、レシートの総金額の1％が当センターに寄付されるというものです。山梨県内では「イオン甲府昭和店」と「ザ・ビッグ甲府長松寺店」の2カ所に当センターの投函ボックスを設置していただきました。

投函ボックスは、毎月11日、レジの向かい側に設置してあります。お買い物の折には、どうぞ協力をお願いします。

あなたの思いやりが被害者を支えています。ご協力感謝申し上げます。

（敬称略・順不同）（平成26年3月1日～平成26年7月10日）

賛助会員入会者

法人・団体

- ㈱ミリオンインターナショナル
- 韮崎警察署
- 鰍沢警察署友の会

個　人

- 渡辺　茂
- 小林　健一
- 柏木　佳明
- 志村　一
- 三井　徹也
- 市川　和彦
- 和田　弘記
- 神澤　直久
- 長田　絵美
- 三森　美保
- 海野　錦
- 大森　仲
- 高木　法子
- 塚田　岳夫
- 原　文一
- 進藤　明
- 高野貴美子
- 櫻林　信
- 細入　浩幸
- 加藤　和弘
- 相模　稔
- 藤森　朝美

寄　付　者

- ㈱フローレン:自販機分
- 富士吉商事市場東給油所:自販機分
- メグロ会館:自販機分
- ㈲ダイヤ商事募金箱
- 南アルプス警察署募金箱
- 鰍沢警察署募金箱
- 上野原警察署募金箱
- 南甲府警察署募金箱
- 渡辺　茂
- 河西　秀人
- 芦澤美也子
- ㈱アルプス
- 三澤　聡
- 長瀬由美子
- 山本　保彦
- 松嶋　茂次
- 一瀬　英史
- 植野　一保
- 佐々木　宏
- 小野　隆彦
- 秋山　尚美
- 伊藤　美佳
- 丹沢　浩子
- 専門学校甲府秘書学院
- 関本　かおり
- ㈲宮坂自動車
- ㈲丸山
- 長田　泉
- イオンリテール㈱：イエローレシートキャンペーン
- 飯野　正志
- (一社)山梨県警友会連合会
- 宝寿院
- 伊東　昇
- ぴゅあ総合:自販機分
- 藤森　朝美
- 保坂　久子
- (一社)甲府市医師会
- 中村　一郎
- 秋山　悟
- 韮崎警察署
- 古屋　勇紀
- 三和リース㈱
- 原　文一
- 長沼　郁雄
- 奈良　紀子
- 奈良　明彦
- ㈲大和屋薬局
- 大和開発興業㈱
- 小林　一史
- 昭和建設㈱
- 天野工業㈱
- 建協クリーンロード㈱
- 出羽　公昭
- マックスバリュ東海㈱：イエローレシートキャンペーン
- 原税務会計事務所
- 山梨県警受付募金箱
- 山梨県遊技業協同組合
- (一社)山梨県建設業協会
- 匿名　4件

賛助会員を募集しています!!

当センターの運営は皆さまからの浄財を頼りとしております

収益事業を行わない当センターの活動は、事業目的にご賛同いただいた皆様からの会費や寄付金によって賄われております。法人・団体・個人のみなさまの賛助会員へのご入会やご寄付をお待ちしております。募集内容は以下の通りです(1口以上何口でも結構です)。よろしくお願いいたします。

賛助会員

個人会員	1口	2,000円(年間)
法人会員・団体会員	1口	10,000円(年間)

寄　付

個人寄付	1口	1,000円
法人・団体寄付	1口	10,000円

お振込先

●銀行振り込みの場合

山梨中央銀行　県庁支店　普通預金　口座番号662535

受取人

(フリガナ)　シャ)ヒガイシャシエンセンターヤマナシ

(社)被害者支援センターやまなし

●郵便振替の場合

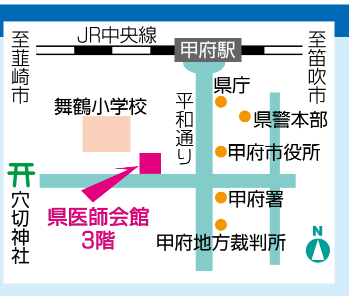
00270-3-114370

(社)被害者支援センターやまなし

お問い合わせ先

山梨県公安委員会指定 犯罪被害者等早期援助団体

公益社団法人 被害者支援センターやまなし

〒400-0031 甲府市丸の内2-32-11 県医師会館3F　TEL・FAX055(228)8639

URL　http://www6.ocn.ne.jp/~shienyam/
MOBILE　http://www6.ocn.ne.jp/~shienyam/m/
Email　sien-yamanashi@comet.ocn.ne.jp